

フェミニズム—「わたし」の再考

●2022 年度例会シリーズ「フェミニズム—『わたし』の再考」について●

ケア、エッセンシャル・ワーク、インターセクショナリティ…フェミニズムはまた新たなステージに入っているようです。ついて行くのが大変…とひそかに思っている人は少なくないのでは？そこで、当フォーラムは今年度例会の全体テーマを「フェミニズムを自分なりにふりかえる」にしてみました。

第 1 回例会講師の伊田久美子さんはご自身の長年の研究に基づいて、フェミニズムは「労働」をどうとらえてきたかを、今日の時点から振り返ります。「家事労働は世界を支える。変えたいのは女の息を詰まらせる今のそのあり方」という 1970 年代のイタリアの女性運動の呼びかけから現在の「介護」・「ケア労働」・「エッセンシャル・ワーク」論の諸課題を照射するお話は、昨年 21 年度の当フォーラム講演会「ケア労働とジェンダー(第 1 回 講師伊藤みどりさん)における伊田さんのコメントをバージョンアップした内容になります。

第 2 回講師の荒木菜穂さんは幅広い世代のフェミニズム的活動等に関わると同時に、フェミニズム嫌いの言説にも出会うなかで、「ジェンダー構造は、女性たちを抑圧するとともに分断し、連帯を困難にするしくみを持つ。それらのしくみに抵抗することこそがフェミニズム」と改めて考えるようになりました。「同じ経験、同一性を持つからの連帯ではなく、異なる立場であるからこそその緩やかな絆」を大切にしたいという思いの先にある「やわらかいフェミニズム」に触れていただければと思います。

第 3 回は、「みんなの振り返り」のブレーストーミングです。これまではともすれば時間不足で、会場の発言は限られてしまいがちでした。この回では、主催者側のみでなく参加者それぞれにとっての「フェミニズム—『わたし』の再考」を語りあいたいと思います。

時間は各回とも 19 時開始、21 時終了予定です。

●第 1 回●

テーマ：「家事労働論再考—フェミニズムと『労働』を問い直す」

日時：2022 年 11 月 12 日(土) 19 時~21 時

講師：伊田久美子さん(大阪府立大学名誉教授)

コメンテーター：古久保さくらさん(大阪公立大学准教授)

参加費：1000 円(開催後にお支払いについてご連絡します※ゆうちょ銀行振込)

開催方法：ZOOM によるオンライン開催

※ご参加方法等詳細は裏面をご覧ください。

●お申込み方法●

<https://forms.gle/hzkyuFzM4v7uoRhv7>

上記のリンク先のフォームもしくはQRコードより
お申込みください(締切:11月5日)。

※ZOOMの使用環境等は各自ご準備ください。

※参加URLは11月9日正午までにお送りします。

※開催後にアンケートと参加費お支払いのご連絡をさせていただきます。



●お問い合わせは tnforum2013renraku@gmail.com まで



●以降の予定

第2回「柔らかなフェミニズムをめざして」2023年1月25日(水)

講師:荒木菜穂さん(当フォーラム運営委員)

コメンテーター/伊田久美子さん(大阪府立大学名誉教授)

第3回「振り返り公開座談会・ブレインストーミング」2023年3月予定

進行:北 明美(当フォーラム運営委員/福井県立大学非常勤講師・同名誉教授)

+当フォーラム運営委員、これまでの登壇者(予定)

「フォーラム 労働・社会政策・ジェンダー」は、2010年度に開催したセミナー「竹中恵美子に学ぶ」受講生有志が呼びかけて、セミナーで学んだ内容を活かしながら現代的課題について議論し、問題意識を深める目的で立ち上げられました。